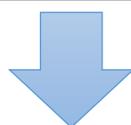


評価区分及び業務実績報告書様式の変更について

評価区分及び業務実績報告書様式について以下のとおり、変更を行った。

今までの評価区分（4段階評価）

- ・ S 評価は特別な区分であるため、実質的に3段階評価となっていた。
- ・ S 評価を除くと達成とする評価が A 評価しかなかったことから、定性評価項目においては、A 評価が突出して多く並び、達成度合いに応じた評価が実現できていなかった。



5段階評価に

（B 評価を「概ね達成」とし、新たに D 評価を追加）

【変更後】赤字箇所が変更箇所

評定区分	判断の目安となる業務実績
S	年度計画を大幅に上回って達成している (定量的目標においては対年度計画値の 120%以上)
A	年度計画を達成している (定量的目標においては対年度計画値の 100%以上 120%未満)
B	年度計画を概ね達成している (定量的目標においては対年度計画値の 80%以上 100%未満)
C	年度計画を下回っており、改善を要する (定量的目標においては対年度計画値の 60%以上 80%未満)
D	年度計画を大幅に下回っており、抜本的な改善を要する (定量的目標においては対年度計画値の 60%未満)

今までの業務実績報告書

- ・項目間の階層構造が分かりにくかった。
- ・細項目評価を見るためには別冊を見なければならなかった。
- ・項目に対応した今後の課題や方針が分かりにくかった。



階層構造や個別の評価が見やすい様式に

大項目○ ○○○○○○○○○○○	
自己評定	B
【中期計画】	
【総評】（記載例） 小項目の自己評定で○○はB評定、△△はC評定とした。 本大項目の自己評定については、上記の2項目以外はA評定であることと、◇◇により○○の重要度が高いと判断し、B評定とした。	
【今後の課題と方針】	

階層構造を明確化

小項目○-○	B						
<細項目○-○-○>（記載例） 【経常黒字の維持】 経常収支比率（単位：％） <table border="1" style="margin: 5px auto;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和3年度実績</th> <th>令和3年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院機構全体</td> <td style="text-align: center;">100.3</td> <td style="text-align: center;">110.0</td> </tr> </tbody> </table> ○○病院は○○が長引いたため入院収益が伸びず○千円の経常損失 △病院は△の取組効果により△千円の経常利益となり、全体で●●千円の経常利益	病院名	令和3年度実績	令和3年度目標	病院機構全体	100.3	110.0	B
病院名	令和3年度実績	令和3年度目標					
病院機構全体	100.3	110.0					
<細項目○-○-○>	B						
今後の課題と方針							
（記載例） ○○については、○○が課題であるため、今後は○○の取組を実施し、○○の向上に努める。							
小項目○-○	B						
<細項目○-○-○>	B						

小項目内に細項目
評価を記載

小項目ごとに対応した
今後の課題と方針を記載